

高木健次 健政だより

謹賀新年



明けましておめでとうございます。皆さまにはお健やかに新年をお迎えのこと、心よりお慶び申し上げます。

昨年はロシアの一方的なウクライナ侵攻に始まり、世界中が驚愕すると共に、改めて国際平和について考えさせられた年であったと思います。一日も早い戦争の終結と、安全な暮らしが戻る事を念願するものであります。

一方、本県では半導体受託生産において世界最大のTSMCの熊本進出発表から急ピッチで工事が進められ、本年12月には工場が完成予定です。

昨年は熊本のスポーツ分野で明るいニュースが多くありました。サッカーの熊本ロアソッ、バスケットの熊本ヴォルターズ、野球独立リーグの火の国サラマンダーズが健闘し、ヤクルトスワローズに所属する熊本県出身の村上宗隆選手は史上最年少の三冠王、王貞治選手を越える日本人最多の56本のホームランと、歴史に残る大活躍でした。今年も熱い火の国魂を県民の皆さんに届けていただくよう更なる飛躍を願っています。

昨年12月の定例議会において「県営スポーツ施設のあり方」について一般質問に登場しました。浦島知事からは「私の任期中には方向性を示す」との回答を頂き、長年訴えてきた「県営野球場の建設」に大きく踏み出せました。これも一重に支援し続けて頂いた皆様のお力と感謝致します。今後とも県ならびに合志市の発展のため職責を果たして参ります。なお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い致します。

本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。

第57号(新年号)

発行者
熊本県議会議員
高木健次

電話(096)215-5877
FAX(096)215-5878

政治とは住民の暮らしである

熊本県議会12月定例議会

令和4年12月2日～12月22日(21日間)

12月定例県議会は22日、空港アクセス鉄道のルート調査費や新型コロナウイルス対策費を盛り込んだ2022年度一般会計補正予算など、議員提出を含む93議案を可決・承認同意・認定して閉会しました。

内訳は、決算21、人事16、予算14、条例10、工事請負契約10、財産取得3、市町村負担金、意見書、決議各1、その他16。可決した議案のうち意見書は燃料や肥料・飼料などの生産資材価格の高騰を受け、食料安全保障を強化するために食料・農業・農村基本法を見直すよう国に求めました。

高木委員 中九州横断道路の整備は、大津熊本道路のうち合志と熊本間と大津西と合志間、この事業着手は2年程の差があったが、現在ではTSMC関係でこのルートの重要性が非常に大きくなってきている。この2事業は同時並行で工事を進めていくという理解でよい。

執行部 合志と熊本間の用地説明や幅杭設置など作業が進んでいる。大津西と合志間は、過日事業着手されたところであるが、できる限り早期に同時進行できるように国に要望して参りたいと思っている。

高木委員 工事区間の13.8kmとは熊本から大津西までだが、一部のみを早くしても色々な支障があると思われる。出来



高規格道路の整備
中九州横断道路において、10月22日の「大津と熊本道路(大津西と合志)間の中心杭打ち式に続き「竹田と阿蘇道路」の着工が12月11日に開催され、県内の幹線道路の整備は着実に前進しています。

◆高規格道路の整備
中九州横断道路において、10月22日の「大津と熊本道路(大津西と合志)間の中心杭打ち式に続き「竹田と阿蘇道路」の着工が12月11日に開催され、県内の幹線道路の整備は着実に前進しています。

◆空港アクセス鉄道整備
空港アクセス鉄道については、今議会でも知事が「肥後大津ルート」することを表明し、決定に至った理由と課題についても、今後丁寧な対応を行うと説明された。

◆厚生常任委員会
感染症への対応
執行部 新型コロナウイルス感染症については、感染者数の増加傾向が続いており、全国と同様に本県も第8波の状況にある。このような中、国の重症化率の低いオミクロン株が流行している状況においては、強い行動制限は行わないという考えに基づく新たなレベル分類を踏まえ、本県もリスクレベル基準を改定した。

また県民に対し混雑した場所の回避や、可能な限り感染リスクの高まる行動を控え、基本的な感染防止対策の徹底とワクチンの早期接種を繰り返し呼び掛ける。この冬は季節性インフルエンザの同時流行も懸念されることから、専門家の意見を聞きながら感染防止に対応して行く。

◆全数届出見直し後の状況
委員 全数届出見直し後、対象外(65歳未満)の方をフォローするため、QRコードの登録状況を聞きたい。

◆物価高騰対策事業
関連について
委員 物価対策事業の保育所等への支援については間接補助として県と市町村で実施することとしているが、今後の取り組みの見直しを聞きたい。

◆保育所等における虐待について(要望)
高木委員 昨今保育所等での虐待が多く取り上げられている。あつてはならないことだが、背景には保育士の激務、進まない定数見直し、人材不足などが要因と考えられる事案もあり、市町村や保育所への指導・連携とともに、配置基準見直し等の要望を国に対してしっかりと行ってもらいたい。

執行部 国での全国調査が行われており、国・市町村と連携して取り組む。国の研究では虐待が起る背景には①職場環境、②保育士の人権や人格尊重にかかる意識、の要因があると分析されている。県ではこれまで保育士に対する児童虐待防止に対する研修会や管理者研修を行っており、今後も周知徹底を図って行きたい。引き続き国に対して配置基準変更を要望し、環境改善に努める。

◆厚生常任委員会
感染症への対応
執行部 新型コロナウイルス感染症については、感染者数の増加傾向が続いており、全国と同様に本県も第8波の状況にある。このような中、国の重症化率の低いオミクロン株が流行している状況においては、強い行動制限は行わないという考えに基づく新たなレベル分類を踏まえ、本県もリスクレベル基準を改定した。

また県民に対し混雑した場所の回避や、可能な限り感染リスクの高まる行動を控え、基本的な感染防止対策の徹底とワクチンの早期接種を繰り返し呼び掛ける。この冬は季節性インフルエンザの同時流行も懸念されることから、専門家の意見を聞きながら感染防止に対応して行く。

◆全数届出見直し後の状況
委員 全数届出見直し後、対象外(65歳未満)の方をフォローするため、QRコードの登録状況を聞きたい。

◆物価高騰対策事業
関連について
委員 物価対策事業の保育所等への支援については間接補助として県と市町村で実施することとしているが、今後の取り組みの見直しを聞きたい。

12月定例県議会一般質問 高木けんじ 質問要旨



一般質問する高木県議

県営スポーツ施設(県営野球場等)の整備の在り方

今年のスポーツを振り返ると、プロ野球では熊本県出身の東京ヤクルトスワローズの村上宗隆選手が今シーズン56本の本塁打を打ち、日本選手歴代最多シーズン本塁打記録を58年ぶりに更新。歴代最年少での三冠王も獲得するなど、数々のプロ野球史に残る活躍をし、史上最年少での「県民栄誉賞」の受賞も決定した。

スポーツは、県民に元気を与え、地域への経済効果をもたらす。その最大化を図るためには、受け皿となる施設の充実が欠かせない。

国は、今年3月に策定した「第3期スポーツ基本計画」の中で、スポーツの成長産業化を掲げ、地域経済の活性化の基盤となるスタジアムやアリーナの施設の整備を推奨しており、九州内でも、佐賀県ではア



2023開業予定の北海道ボールパーク

リーナを含むスポーツ施設の整備、長崎県では民間主導によるアリーナ・スタジアム・ホテルなどの複合的施設の整備が行われている。しかし本県においては、その経済効果を最大化するための施設整備が十分な状況にある。

一方で、野球場を建設する場合、100億円程度の建設費が必要。今後のスポーツ施設の整備を実現するためには、外部から財源を獲得し、自治体の負担をできる限り抑えることがますます重要になってくる。

具体的方法として、国のスポーツ施設整備に係る支援制度の活用や、PFI手法等、官民連携による整備の方法が挙げられるが、特に注目したいのが、いわゆる企業版ふるさと納税の活用。これは地方公共団体が行う地方創生の取組みに対する企業の寄付について法人関係税を控除する制度で、税額が最大9割控除され、企業に

とつても社会貢献を通じた法人のイメージアップや認知度の向上などメリットのある制度。群馬県の太田市では、アリーナの建設費約78.5億円に対して、企業版ふるさと納税で40億円、更に国の地方創生拠点整備交付金で10億円の財源を確保する事に成功している。

本県の老朽化した複数のスポーツ施設を短期間で整備するには、この企業版ふるさと納税で寄付を募るなど、様々な手法がある。

県営野球場、武道館などの整備の在り方について、知事の考えを聞きたい。

知事答弁 議員発言のとおり、本県にゆかりのあるスポーツ選手やチームが県民に多くの夢や感動を与えた一年であった。また、その盛り上がりに応じ、野球場やアリーナ・スタジアム等のスポーツ設備に期待する多くの県民の声が聞かれた。

野球場等のスポーツ施設は周辺産業への経済波及効果や雇用創出が期待でき、地域活性化の起爆剤となり得る潜在能力を有している。スポーツ施設整備のあり方については、私の4期目のマニフェストにも掲げており、現在、施設の建設や運営に係る「ラスト、老朽化の状況、経済波及効果など、様々な視点から施設の評価・分析を行い、今任期中には方向性を取りまとめる。

高木県議 任期中に方向性を取りまとめるとの発言に安堵している。昨年、村上選手は夢づくり大賞贈呈式で、「子どもたちの夢を叶えるため、新球場を作ってほしい。藤崎台球場も古くなっている」と知事に訴えた。各方面からも、もう現球場は限界、今が絶好のチャンス等々の意見が寄せられている。私は浦島知事にやってもらいたい。浦島知事にしかできない、そう思っている。知事の英断を期待している。

今後はPFIまたは企業版ふるさと納税の活用など官民連携の取り組みが非常に重要であり、この観点からもしっかり検討を進めて参る。

県では、県営工業団地の整備を最大化する。農業と工業の両立を目指すような広い視点のランドデザインを指した検討を行うとしている。迅速かつ円滑な土地利用調整を進める観点から、市町村を後押ししていくために、県としてどのような対応方針を考

TSMCの進出決定を受け、近隣では企業の投資・進出が相次いでおり、操業開始に向けて今後ますます活発になっていくと期待している。

一方で、企業の旺盛な進出意欲に対し、それに応えられるだけの工業用地が不足しており、まとまった用地の確保が課題となっている。

県では、県営工業団地の整備を進められているが、盛り上がりを見せる企業の進出意欲の全てに対応するのは困難と理解はするものの、TSMCが進出する菊陽町や、私の地元の合志市をはじめとする周辺地域には、多くの優良農地が広がっている。これらの農地を維持していくために、農業振興法や都市計画法において厳しい土地利用規制が定められており、規制を解除するためには手続きに時間を要している。



急ピッチで建設が進むTSMC

優良農地を守りつつ、TSMC進出のチャンスを生かすため、県は節度を持った規制の解除について検討していくべきと考える。また、操業開始が迫る中、民間企業の動きに対応できるようにスピード感を持った用地確保が求められている。知事も、TSMCの進出効果を最大化するため、農業と工業の両立を目指すような広い視点のランドデザインを指した検討を行うとしている。

「このような方針のもと、百年に一度のビッグチャンスとも言えるTSMC進出の効果を最大化できるよう、農業と工業の両立が図られたランドデザインを目指して取り組んで行く。」

高木県議 農業用地と工業用地の両立が、一番肝心。県には市町村との協力・支援体制をしっかりとお願いしたい。

しているのか、知事に伺いたい。知事答弁 TSMCの進出は日本経済安全保障の一翼を担うという本県の目標に貢献し、かつてないビッグチャンス。一方で全国有数の農業県である本県にとって、食料の安全保障に貢献する事も重要である。議員指摘のとおり、この両者のバランスを取りながら限りある土地をいかに有効活用するかが喫緊の課題。農業振興と企業立地促進の両立を図るため、企業や住宅を農地の基盤整理が行われていない区域等に集約・誘導し、土地利用規制に係る各種許可にスピード感を持って対応する。

国道3087号

須屋付近の道路整備

TSMCの熊本進出により、大規模な工事が異例のスピードで進められ、生活や経済の発展に繋がると地元では大きな期待が広がっている。しかし、このような企業集積に伴い心配されるのが、これまでの議会質問で何度も取り上げてきた私の地元でもある熊本都市圏北部地域の道路ネットワークの整備である。

議会質問の中で検討をお願いしていた大津植木線と合志インターチェンジアクセス道路の2箇所が、事業化を見据え、計画を具体化する概略設計に着手されたという事で、スピード感を持って進めていただけたことに感謝です。

一方、国道3087号については、合志市須屋付近を優先して道路計画の検討に取り組んでいく方針が示されたが、現時点では、具体的な道路整備の内容や方向性などは示されていない。渋滞が著しい須屋付近の道路整備は、都市圏北部地域の交通円滑化に向けて効果



渋滞が続く須屋の高速道高架下道

的な取り組みであり、事業化に向けて一日も早く計画を具体化する必要がある。交通円滑化の早期実現に繋がる国道3087号須屋付近の道路整備について、具体的な取り組みと今後の進め方について、土木部長にお尋ねする。

土木部長答弁 TSMC進出を契機とした更なる企業集積に伴う交通需要に対応するため熊本都市圏北部の幹線道路の国道3087号については、須屋付近を優先して道路計画の検討を行っている。渋滞の解消がなされていない須屋付近については、将来の交通需要を見据えた4車線化や、交差点改良など抜本的な対策が必要と考えている。

そこで国道3087号が九州縦貫自動車道と交差する部分については、NEXCO西日本と協議を重ね、自動車道の路面直下を立体で交差する構造や、高速通行に影響を与えない工法などについて検討しているところである。**2車線から4車線化への道路拡幅**等を概略設計につなげ、スピード感をもって取り組んでいく。

高木県議 高速道路の立体交差を4車線化するという画期的な答弁をいただいた。ぜひ迅速な取り組みをお願いします。

児童虐待対策

全ての子どもは愛おしい存在であるとともに、日本の将来を担う大切な存在でもあり、国の宝だと思っている。しかしながら、残念なことに児童虐待は後を絶たない。熊本県に



おいては、令和3年度の児童虐待相談対応件数は2,352件と前年度から78件減少しているものの、過去2番目に多く、高止まりしている状況である。10月に益城町、11月には玉名郡、そして12月に宇城市で逮捕に至る虐待事案も起きており、大変痛ましく思っている。

このような状況下、子育て世帯に対する支援の体制強化などを行うため、本年6月に児童福祉法が改正され、令和6年度から全ての妊産婦や子育て世帯からの相談に応じる「子ども家庭センター」を市町村に設置することが努力義務となった。また、身近な子育て支援の場における相談機関の整備の推進や、訪問による家事支援、児童の居場所づくりの支援などの事業が新設される。更に、「こども真ん中社会」の実現を目指して、少子化や虐待、子どもの貧困など、子ども関連施策を総合的に推進する新たな組織である「こども家庭庁」が来年4月に創設されるなど、節目を迎えている。

私は、悲惨な児童虐待が一度と起きてほしくないと心から願っている。今後、県として児童虐待についてどのように取り組んでいくのが、健康福祉部長にお尋ねする。

また中国は台湾を巡って軍事的な動きを活発化させ、台湾周辺の大規模な軍事演習では発射した弾道ミサイルが日本の排他的経済水域(EEZ)内に落下。北朝鮮が発射する弾道ミサイルが青森県上空を通過し、2017年9月以来5年ぶりとなる全国瞬時警報システム(Jアラート)が発令される事態となった。このように、我が国を取り巻く安全保障環境は、急激に変化している。

健康福祉部長答弁 児童虐待の未然防止・早期対応は喫緊の課題であり、児童相談所の体制強化や子供とその家庭の実情把握や支援を行う市町村の「こども家庭総合支援拠点」の設置を推進してきた。更に、市町村と児童相談所を繋ぎ、心理等の専門性を活かした「児童家庭支援センター」と児童相談所の三層による相談支援体制を確立している。

本年6月の児童福祉法改正に伴い「子ども家庭総合支援拠点」と世代包括支援センターを一本化しワンストップで対応する「こども家庭センター」の設置が努力義務とされた。市町村の役割はますます重要となっており、県では国の交付金を活用して積み立てた安心子ども基金を活用し市町村の活動を後押ししている。また、当事者である子どもが相談しやすいようSNSを活用し速やかに対応するなど、支援体制の充実を図る提案を行っている。

高木県議 近隣から泣き声通報があった場合は、児童相談所と警察が連携した家庭訪問を行うなど、適切な対応を望む。

有事を想定した県の体制

2月のロシアのウクライナ侵攻開始から10ヶ月が経過し、爆撃による死傷者や破壊された学校や病院、インフラ施設等の被害の状況が報じられている。

また中国は台湾を巡って軍事的な動きを活発化させ、台湾周辺の大規模な軍事演習では発射した弾道ミサイルが日本の排他的経済水域(EEZ)内に落下。北朝鮮が発射する弾道ミサイルが青森県上空を通過し、2017年9月以来5年ぶりとなる全国瞬時警報システム(Jアラート)が発令される事態となった。このように、我が国を取り巻く安全保障環境は、急激に変化している。

防衛や安全保障政策は国の専管事項である。しかし万が一、我が国に対する武力攻撃等があった場合、県として担うべき役割は大きい。

令和2年7月豪雨の教訓を踏まえた大規模災害時の防災拠点となる新防災センターが3月に完成予定である。本県では自然災害に対する意識や備えは県民にも広がっているが、自然災害以外のあらゆる有事における危機管理に対しても、県民の大切な命を守るために、しっかりと対応できる体制を整えておく必要がある。

そこで①ミサイル攻撃などの有事に備え、県はどのような体制や対応をとるのか。②ミサイル攻撃などに対し、県民の取るべき行動などについてどのように啓発を進めていくのか。以上の点を、知事公室長にお尋ねする。

知事公室長 自然災害はもとより、ミサイル発射情報など様々な危機事案に迅速に対応できるよう24時間体制で職員を配置している。緊急事態の場合は知事を本部長とする「緊急事態連絡本部」を設置し危機管理部門に加え各部門の職員が参集し市町村や警察、消防、海上保安庁等の関係機関と連携した情報収集を行う体制を構築している。

更に市町村を対象に対処方法に関する研修の実施、自衛隊幹部や有識者との現状や役割についての意見交換の実施、ミサイル攻撃を想定した住民避難訓練、他国からの攻撃を想定した図上訓練の実施を予定している。

有事の際に取るべき行動の啓発については、議員ご指摘のとおり、県民の皆さんに意識・理解いただくことは大変重要。全国知事会を通じて、国に対して適切な情報発信や具体的な避難方法などの普及啓発強化を求めている。

本県もホームページや地区防災組織への防災講和等により意識の強化策を展開している。また有事の際に取るべき行動や住民避難訓練の様子の啓発動画を制作し、SNS等での発信を検討している。これからも県民の安全確保に向けた取り組みを進めて行く。

高木県議 完成する防災センターは、あらゆる災害・有事における体制を整えてほしい。



阿蘇くまもと空港 新ターミナル開業

今年3月23日(木)に2021年1月から建設を進めていた新ターミナルの供用が開始されます。

「熊本地震からの創造的復興のシンボル」としての阿蘇くまもと空港は、別々にあった国内線・国際線のターミナル機能を一体化。充実した搭乗待合エリアはもとより、空港を利用しない方々にも来場いただける広場や商業施設も有しています。

阿蘇くまもと空港は、熊本県の空の玄関口として更に大きく羽ばたきます。



熊本県議会議員 在職十五年表彰



令和4年9月定例会において、全国都道府県議会議員会、蒲島郁夫熊本県知事、熊本県議会より、議員在職15年の表彰を受けました。これも偏に長年ご支援を頂いた皆様のお陰と心から感謝申し上げます。栄えある受章を機に県政発展の為に更に努力をする所存です。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

高木県議の主な動き

- 10月 1日 みずき台秋祭り
- 3日 監査(熊本東警察署)
- 4日 議連正副シクチャ
- 5日 監査(大草空港管理事務所)
- 9月 9月定例会閉会
- 監査(熊本県立図書館)
- 監査(保健環境科学研究所)
- 監査(上天草警察署)
- 8日 大西市長政経セミナー
- 10日 御代志地区交通拠点 開業記念式典
- 11日 監査(熊本北合志警察署)
- 12日 自民党役員会
- 13日 監査(八代警察署)
- 14日 監査(菊池教育事務所)
- 15日 監査(菊池警察署)
- 15日 合志技研秋祭り
- 17日 白井消防団長退職祝賀会
- 18日 中央道・中九州道 建設促進大会(東京)
- 19日 監査(自動車税事務所)
- 20日 監査(福祉総合相談所)
- 21日 監査(技術短期大学)
- 22日 中九州道杭打ち式(大津町)
- 24日 監査(日本赤十字社)
- 25日 合同(議員地方連)関係会
- 26日 緒方良雄氏米寿祝い
- 27日 監査(教育センター)
- 28日 九州防衛議員連盟総会
- 29日 大津高校創立百周年式典
- 31日 監査(星翔高校)
- 31日 西瓜部会役員との打合せ
- 31日 議会運営委員会・理事会
- 高健会ゴルフ大会開催
- 11月 1日 監査(山鹿市装飾古墳館)
- 2日 監査(食肉衛生研究所)
- 4日 監査(鎮西高校)
- 5日 坂本代議士企業セミナー



- 6日 合志市民祭り
- 7日 栄(ユニテ)カローリング大会
- 7日 監査(マリスタ学園)
- 7日 監査(大阪事務所)
- 7日 監査(大津警察署)
- 9日 監査(農業研究センター)
- 10日 監査(天切畑)復讐事務所
- 11日 農業大学学園祭
- 13日 監査(肥薩おれんじ鉄道)
- 14日 高特特別委員会管外視察(愛知県・静岡県)
- 15日 竹迫日吉神社例大祭
- 17日 監査(東京事務所)
- 18日 熊本県乳牛共進会
- 19日 健友会懇談会
- 20日 永清市議政経セミナー
- 21日 商工会地域問題懇談会
- 22日 自民党政審会
- 23日 監査(文徳高校)
- 24日 監査(熊本商工会議所)
- 25日 監査(大津高校)
- 30日 正副議連ヒアリング
- 12月 1日 議会運営委員会
- 2日 12月定例会(本会議)
- 看護職との交流会
- 県庁くらだけ会総会
- 拉致問題解決講演会
- 各種団体の県への予算要望
- 監査(済々黌高校)
- 本会議一般質問
- 本会議一般質問
- 本会議一般質問
- 中心打ち式(矢部・清和道路)
- 中心打ち式(竹中・阿蘇道路)
- 本会議一般質問
- 正副議連シクチャ
- 本会議一般質問
- 監査(熊本工業高校)
- 高速交通特別委員会
- 厚生常任委員会
- 監査(翔陽高校)

一般質問傍聴 記念撮影

12月9日、一般質問傍聴にお越し頂いた皆様と議会棟前で記念撮影を行いました。寒い中ありがとうございました。一般質問の録画は、PCや携帯電話からも視聴できます。熊本県議会インターネット中継を検索、議員名から選ぶ ↓ 高木健次 でご覧下さい。



県議会議員高木健次事務所

所在地 熊本県合志市栄3240-1
 電話 096-215-5877
 F A X 096-215-5878
 メール takaki@kvd.biglobe.ne.jp
 U R L http://www.5b.biglobe.ne.jp/~takaki-k/

編集後記

新年あけましておめでとうございます。皆さん、お正月はいかがでしたか。ロシアへのウクライナ侵攻が年を跨いでしまいました。揺れ動いた社会経済の安定を願うばかりです。

今年一年が皆様に取って、また世界の人々にとって、安らげる、幸せな年となる事を切に願います。

宮崎正昭